

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	学年	1	類型	
教科書	新編言語文化			副教材	新編言語文化学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				知	思	主		
1 学期	4	随筆	さくらさくらさくら 筆者のものの見方や感じ方を読み取る。	○	◎		学習のねらい 1学期は随想や小説の1を題材に、発想や表現のおもしろさを味わうとともに、人間に対する洞察力を深めます。また、古文・漢文では、音読して古文漢文のリズムを味わい、初歩的な文法や訓読の基本を習得します。 2学期は、小説「羅生門」を読み、登場人物の心情の変化を読み取ります。また、「詩歌」では詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養います。さらに、古文「伊勢物語」や漢文の「論語」を学ぶことで、古人の考え方を学びます。 3学期には、小説3を題材に多様な小説に触れ、小説の読解やその世界が広がる楽しさを学びます。また、古文「奥の細道」を学ぶことで、古人の人生観や物の感じ方を選び、自分の人生についての考えを深めていきます。	
			"		○	◎		
	5	古文入門	古文に親しむ 典の文章を味わい音読する。	○		◎		
			児のそら寝 古文を読む基礎となる文語の決まりを理解する。		◎			
			"	中間考査	◎	◎		
	6	漢文入門	訓読の基本 漢文の特色を知り、きまりを理解する。	○		◎		
			故事成語一三編 格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。	○	◎			
			"	"	○	◎		
	7	小説1	とんかつ 表現に注意しながら、登場人物の心情を読み取る。		◎	○		
			"		○	◎		
		"	期末考査	◎	◎			
2 学期	8	随筆	徒然草 古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。	○		◎	学習の目標 社会人として必要な国語の基礎・基本的な力を身に付けます。様々な文章を読んで、内容を的確に読み取ったり味わったりし、ものの見方や考え方を広げていきます。	
			"	"	○	◎		
	9	漢詩	絶句と律詩一七首 漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。		◎	○		
			"			◎		○
	10	小説2	羅生門 場面の展開に即して、登場人物の心情などを読み味わう。		◎	○		
			"	"				
			"	"	中間考査	◎		◎
	11	物語	伊勢物語 物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。		◎	○		
			"			◎		○
			"	"	"	"		"
12	論語	論語一八章 孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えをとらえる。		◎	○			
		"			◎	○		
		"	"	"	"	"		
12	詩歌	雪の深さを【俳句】 俳句のリズムを味わい、鑑賞し、理解を深める。		◎	○			
		冬が来た・少年の日・I was born 詩のリズムを味わい、表現の工夫について理解する。		◎	○			
		"			○	◎		
3 学期	1	史話	史話一三編 話の展開に即して、内容を理解する力をつける。		◎	○	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
			"		○	◎		
			"			○		◎
	2	小説3	夢十夜 作品の内容を読み取り、登場人物の心情について理解する。		◎	○		
			"		○	◎		
		"	"	"	"	"		
3	紀行	奥の細道 詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉える。		○	◎			
		"		○	◎			
		"			○	◎		
			学年末考査	◎	◎	備考		

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【言語文化の目標】

- 漢字力をつけよう。
 - ・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとるつもりで頑張りましょう。
 - ・希望者を募り、年4回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
 - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
 - ・いろいろなジャンルの本を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
 - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 教科書を読みます。
 - ② 出てくる漢字や難語句について、基本問題集を用いて調べ確認します。
 - ③ 本文を読解します。
 - ④ 学習課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 古典の学習では、特にすらすらと音読できるよう何度も練習しましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや問題集・プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します)出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。)ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。)課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価